

繰り返される 本人の同意なき強制出向に喝！！

今月になって、またまた2名の分会組合員に対して本人が同意しない、納得の行かない強制出向が言い渡されました。

その内の1名は、2021年9月にも警備会社への出向が言い渡されました。

当時、本人はあくまでも乗務員を続ける意向を繰り返し主張してきましたが、会社は撤回しようとはしませんでした。しかし、突然10月1日からの出向が取り消しとなりました。理由は「出向会社との調整」という苦し紛れで具体性もない理由を元にした取り消しでした。

当該組合員は、会社に対して家族をも巻き込み不安な精神状態と迷惑を与えた行為に謝罪を求めましたが、何の謝罪もなく、その姿勢は冷徹そのもので許しがたい蛮行でした。

そして、ここに来て再び強制出向という蛮行を繰り返してきました。

死文化した54原則出向の復活は、「コロナ禍における列車の運転本数の減」を理由としたものでした。

しかし、アフターコロナで日本人旅行客や訪日外客数はかなりの勢いで増えてきて、当然、列車本数の増が見込まれます。

そのような状況で、貴重な乗務員としての要員をいとも簡単に失おうとしています。

今回、強制出向を言い渡された2名は、国鉄採用の内で一番若い社員でした。そのことから何が何でも職場から東海労組合員を1日も早く放逐したいと意図する会社の狙いであることは明らかです。

**我々がいなくなったら
職場の労働条件ボロボロになりませ！！**

私たちは、ロボットではない！本人に同意のない出向は断固反対する！！